



家畜保健衛生所だより

R6.12.27

年末年始・旧正月の防疫対策の徹底について

高病原性鳥インフルエンザや豚熱の発生が、国内で相次いでいます。特に今年は愛媛県内の野生動物、畜産農家での発生がみられ、発生リスクが非常に高まっています。また、アフリカ豚熱、口蹄疫については近隣国を含むアジア地域に広く浸潤しており、国内侵入リスクは依然として高い状況にあります。さらに、今年11月には国内初のランピースキン病の確認・続発事例が確認されており、警戒が必要です。

年末年始も、飼養家畜の異状がありましたら、家畜保健衛生所への早期通報をお願いします。

《最近の主な疾病発生状況等(R6.12.24現在)》

🐷 豚熱

・国内23都県94事例発生。ワクチン接種農場でも発生していることから、ワクチンのみで発生を抑えることは困難。飼養衛生管理基準の徹底が重要。

・【愛媛】R6.11 四国中央市の豚一貫農場で初発生。県内の野生イノシシで陽性3事例。

🐔 高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)

・国内今シーズン11道県15事例発生し、殺処分羽数約167万羽。

・国内今シーズン、野鳥では15道県84事例発生。

・【愛媛】R6.12 西条市の養鶏農家で3年ぶり2事例発生。野鳥からA型インフルエンザウイルス確認。

再徹底をお願いします！

- アフリカ豚熱、口蹄疫等の発生地域への海外渡航は自粛を
- 外国人従業員を受け入れている施設では、日本への持込みが禁止されている肉製品等が持ち込まれることのないよう、当該従業員等への指導の徹底
 - ・国際郵便物等の中に肉製品等を確認した場合は直ちに動物検疫所に連絡を。
- 衛生管理区域及び畜舎内への病原体の侵入防止対策の徹底
 - ・看板を設置し、必要のない人の立ち入りや、不要物の持ち込みを防ぐ。
 - ・野生動物の侵入防止のため、防護柵・防鳥ネット等について定期的な点検・修繕を行う。
- 家畜の毎日の健康観察を行い、異状の早期発見・早期通報を

🐔 HPAI	🐷 豚熱	🐷🐷 口蹄疫	🐷🐷🐷 ランピースキン病
<ul style="list-style-type: none"> ・死亡率が2倍以上 ・まとまって死亡 ・チアノーゼ(鶏冠等) ・沈うつ、産卵率の低下等 	<ul style="list-style-type: none"> ・紫斑(耳翼、下腹部、四肢等) ・発熱(40℃以上)、元気消失 ・結膜炎(目やに) ・白血球数減少(1万個/μl未満) 	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱(39℃以上) ・水泡、びらん、潰瘍等(口腔内、口唇、鼻部、蹄部、乳頭又は乳房) 	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚の結節や水腫 ・発熱 ・泌乳量の低下等

中予家畜保健衛生所 TEL 089-990-1333

★携帯電話 090-6282-6129(年末年始、休日、平日夜間)